

開催案内

2012 8/24 金 - 25 土

会場

帝京平成大学池袋キャンパス

主催

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)
財団法人 精神・神経科学振興財団

これから10年のビジョン

精神保健福祉医療領域の社会運動とリカバリーフォーラムの役割

RECOVER
Y F
ORUM 2012 R

リカバリー全国フォーラム2012

RECOVER
Y F
ORUM 2012 R

RECOVER
Y

事務局

特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構

コンボ

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>

リカバリーフォーラム

検索

RECOVERY FORUM 2012

リカバリー全国フォーラム2012

これから10年のビジョン 精神保健福祉医療領域の社会運動とリカバリーフォーラムの役割

4 回目を迎えるリカバリー全国フォーラムは、毎回1,000 人を超える参加者により、2 日間にわたり「日本の精神保健福祉サービスを”当事者中心”に革新するために」をメインテーマに開催されています。回を重ねる中で、当事者・家族・精神保健福祉医療関係者・市民など職種・所属を超えた仲間が全国から集い、活発な議論を行う場として定着してきました。今回のテーマは、「これから 10 年のビジョン；精神保健福祉医療領域の社会運動とリカバリーフォーラムの役割」。当事者活動や家族支援、科学的根拠に基づく実践プログラム (EBP)、アンチスティグマ、そしてリカバリーフォーラムの「これから 10 年」について語りあいましょう。全国の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

リカバリーフォーラムオフィシャルサイト



過去の
レポートも
掲載中!

<http://recoveryforum.net/>

リカバリーフォーラム 検索

日時 2012年8月24日(金)-25日(土)

会場 帝京平成大学池袋キャンパス
(JR池袋駅東口から徒歩12分)

定員 1200名

主催 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)
財団法人 精神・神経科学振興財団

後援団体 *昨年度の後援団体に申請中、順不同・法人種別略

- 厚生労働省 ● 東京都 ● 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 ● 日本障害者協議会 ● 全国精神保健福祉会連合会
- 全国精神障害者団体連合会 ● 全国社会福祉協議会 ● 日本精神科看護技術協会 ● 日本作業療法士協会 ● 日本看護協会
- 日本精神保健福祉士協会 ● 全国保健所長会 ● 日本医療社会福祉協会 ● 全国精神保健福祉センター長会
- 日本精神科病院協会 ● 日本精神神経科診療所協会 ● 全国精神障害者地域生活支援協議会 ● きょうされん
- 全国精神障害者就労支援事業所連合会 ● 日本精神保健福祉連盟 ● 日本精神保健福祉士養成校協会
- 日本障害者リハビリテーション協会 ● 日本精神衛生会 ● 全国精神保健福祉連絡協議会 ● 日本総合病院精神医学会
- 日本精神保健看護学会 ● 日本精神障害者リハビリテーション学会 ● 日本精神衛生学会
- 日本心理教育・家族教室ネットワーク ● 日本産業精神保健学会 ● 東京都社会福祉協議会 ● 日本社会福祉教育学校連盟
- 日本 EAP 協会 ● POTA ● NHK 厚生文化事業団 ● 東京都精神障害者団体連合会 ● 東京都障がい者就業支援事業所の会

企画・実行委員 *敬称略・順不同、◎企画委員長

- 高橋清久◎(財団法人 精神・神経科学振興財団) ● 相澤和美(東京・地域精神看護ケアねっと) ● 有村律子(NPO 法人全国精神障害者団体連合会)
- 伊澤雄一(NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会) ● 伊藤順一郎(独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)
- 宇田川健(NPO 法人地域精神保健福祉機構) ● 内山澄子(NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会/もくせい舎) ● 大島巖(日本社会事業大学)
- 大橋秀行(NPO 法人 POTA) ● 加藤大慈(横浜市立大学付属病院精神科) ● 加藤真規子(NPO 法人精神障害者ピアサポートセンターこらーるたいとう)
- 金子鮎子(NPO 法人全国精神障害者就労支援事業所連合会) ● 佐伯隆史(横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門)
- 寺尾直宏(NPO 法人千葉県精神障害者家族会連合会) ● 仲野栄(社団法人日本精神科看護技術協会) ● 広田和子(精神医療サイババー)
- 福井里江(東京学芸大学) ● 福智寿彦(愛知県・すずかけクリニック) ● 藤野英明(横須賀市議員) ● 古屋龍太(日本社会事業大学)
- 増川信浩(WRAP ファシリテーター) ● 行實志都子(文京学院大学) ● 四方田清(社団法人日本精神保健福祉士協会)

事務局

特定非営利活動法人 **地域精神保健福祉機構** NPO コンボ

“COMHBO” COmmunity Mental Health & Welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>

NPO コンボ

検索

8月24日(金)

9:30 - 10:00	受付
10:00 - 10:15	企画委員長あいさつ
10:15 - 12:00	<p>トークライブ</p> <p>新しい自分の発見 ～1枚の写真が何かを変える～</p> <p>出演 『こころの元気+』 表紙モデルの皆さん 市川左千子、内海章友、加藤勉、川北誠、小松達也、澤田優美子、白石和子、新村朋子、仲田亜由美</p>
12:00 - 13:00	昼休み
13:00 - 15:00	<p>記念講演</p>  <p>アメリカにおけるピア活動について ～その発展と将来への可能性～</p> <p>講師 マシュー・フェデュリーチ (コーブランドセンター事務局長 / 全米ピアスペシャリスト協会理事)</p>
15:00 - 15:15	休憩
15:15 - 17:45	分科会 ※詳細は次ページをご覧ください
17:45 - 18:00	休憩
18:00 - 20:00	情報交換/交歓会

8月25日(土)

9:00 - 9:30	受付
9:30 - 12:00	<p>シンポジウム</p> <p>これから10年のビジョン 精神保健福祉医療領域の社会運動とリカバリーフォーラムの役割 ～NPO法人コンボがめざす活動との関連から～</p> <p>シンポジスト 磯田重行(福岡県:地域活動支援センターぶらっと) 岡田久実子(埼玉県:もくせい家族会) 伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター) 高橋清久(財団法人 精神・神経科学振興財団) 大島巖(日本社会事業大学)</p> <p>司会 後藤雅博(新潟県:南浜病院) 宇田川健(NPO法人コンボ)</p>
12:00 - 13:00	昼休み
13:00 - 15:30	分科会 ※詳細は次ページをご覧ください
15:30 - 15:45	休憩
15:45 - 16:30	<p>クロージング</p> <p>司会 NPO法人コンボ共同代表:伊藤順一郎、宇田川健、大島巖</p>

8月23日(木)

フォーラム前夜祭企画

本邦初公開!
イタリアのテレビ放映で大ヒット!

精神病院
昔あるところに「Mattoの町」がありました

C'era una volta la città dei matti

- 会場:帝京平成大学(池袋キャンパス) ● 開場17:00 / 開演17:30
- 事前申込:1000円(リカバリーフォーラム申込時) ● 当日:1200円

主催:イタリア映画を自主上映する180人委員会(仮称)
共催:NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ

日本語
字幕付き

自主
上映会
(3時間)

「Mattoの町」とは、「Matto」(複数形がMatti)が集められて暮らしている場所、精神病院のことです。イタリアでは、1978年、精神病院を廃絶する法律(イタリア精神保健法180号法)が作られ、精神病院という名の“収容所”の存在が禁じられました。このドラマは、その改革の先頭に立ったひとりの精神科医フランコ・パザーリアとその仲間、そして彼らのものでリカバリーしていった当事者たちの姿を、実話にもとづいて再現したものです。「今、日本という国では?」「Mattoの町」を成り立たせているものは?そして「リカバリーとは?」...数々の問いを突き付けてくるこの作品に、リカバリーフォーラムの前夜、出会ってみませんか。なお、Mattoはイタリアでは、侮辱的なニュアンスのほとんどない言葉として一般的によく使われているそうです。

※プログラムは予定です。名称・時間・出演者等が変更される可能性があります。

1	<h3>リカバリー宣言2012</h3> <p>リカバリーって、なんだろう？ 体験談を持ち寄って、回復のきっかけや、思いを交わしましょう。違いがあるから、発見がある！今年は何が見つかるだろうか？ 仲間づくりにも、どうぞ！！</p> <p>トークライブ出演の皆さん、【司会】増川ねてる（WRAP ファシリテーター）、福井里江（東京学芸大学）</p>	ワールド カフェ
2	<h3>みんなで丸くなって話そう、リカバリー ～医療の場でリカバリーを育てるには～</h3> <p>当事者や家族、関係者があつまって、「医療の場でリカバリーを育てるには」というテーマをめぐって、みんなで丸くなって話し合いませんか！ 医療の場では、医療内容や支援の決定は、これまで専門家主導でなされてきました。しかし、当事者は、自分が受ける医療内容を決めることに参加したり、自らが望む生活の実現に役立つ医療のあり方やサービス、システムを求めています。そのために、医療の場(病棟、外来、クリニック、デイケア・ナイトケアなど)や福祉事務所、在宅生活において、何が変わればいいのか？ そのために、何ができるのでしょうか？ 当事者、家族、関係者が顔を合わせて、思いを語り、知恵を出し合ひましょう。</p> <p>相澤和美（東京・地域精神看護ケアねっと）、大橋秀行（NPO 法人 POTA）、他</p>	グループ ディス カッション
3	<h3>ピアと歩む地域移行・地域定着</h3> <p>地域移行・地域定着支援事業において、ピアサポーターによる支援は全国で期待され、大きな実績をあげてきました。事業が個別給付化された今、多様な支援の可能性が広がっています。そして、様々な個性を持つピアサポーターの力が必要とされています。多くの経験と実績を持つピアサポーターの方々からの実践報告を通して、「ともに歩む」関わりについて語り合う場にしたいと思います。</p> <p>古屋龍太（日本社会事業大学）、中越幸乃（神奈川県立保健福祉大学）、ピア活動をおこなってきたピアサポーター、スタッフの皆さん</p>	シンポジウム ワーク ショップ
4	<h3>地域における家族支援のあり方を考える</h3> <p>地域の支援機関における家族支援は、地域で生活する障害をもつ人の家族にとって身近な支援の資源ですが、その支援のあり方やシステムは十分に議論されていません。家族や本人のリカバリーを促進するために、地域での家族支援をどのように展開していけばよいのか、家族と支援者とともに議論しながら、そのあり方を考えていく機会にしたいと思います。</p> <p>賛川信幸（日本社会事業大学）、大島巖（日本社会事業大学）、他</p>	ワーク ショップ
5	<h3>IPS(個別就労支援とサポートモデル) ～働くことのストレス・働けないでいることのストレス～</h3> <p>働くことは、その人にとって「リカバリーの重要な要素」になることはもちろんですが、時には疲れてしまい就労支援者も働いている人も働きたいと思っている人も、「癒されたいな～」と、感じることもあります。そんな癒されたいあなたのための元気になる・元気でいるためのワークも行います。</p> <p>香田真希子（目白大学、NPO 法人コンボ ACT-IPSセンター）、池田真砂子（こみっと）、大島みどり（障害者就職サポートセンタービルド）、IPS 利用者の皆さん、他</p>	シンポジウム ワーク ショップ
6	<h3>アンチスティグマとリカバリー</h3> <p>障害者が社会で元気に生きていく支えになるアンチスティグマについて、世間に広く根ざした誤解や偏見を解消するためにはメディアの力が必要との観点から、今回、新聞社(原昌平氏)とテレビ局の方(井筒屋勝己氏)をお招きし、出版経験のある当事者(石山勲氏)・家族(寺尾直宏氏)を交えて、アンチスティグマへメディアが果たすべき役割について論じます。</p> <p>井筒屋勝己（NHKディレクター）、原昌平（読売新聞大阪本社）、石山勲（NPO法人ミュー）、寺尾直宏（NPO 法人千葉県家族会連合会会長） 【司会】高橋清久（財団法人 精神・神経科学振興財団）、宇田川健（NPO法人コンボ）</p>	シンポジウム ディス カッション
7	<h3>デイケアにおけるリカバリー</h3> <p>デイケアにおけるリカバリーを考えましょう。近年、デイケアに期待される社会的役割も変化しつつあります。従来の「デイケアはこうあるべき」という常識に縛られるのではなく、本人にとってもデイケアにとっても将来、必要なことは何なのか皆さんと考える場にしたいと思います。</p> <p>医療法人福智会（福智寿彦、金澤秀夫、本間貴宣、笹川佑記）</p>	シンポジウム フリートーク
8	<h3>権利擁護とリカバリー</h3> <p>精神科医療や日常生活支援の現場で、「権利擁護」はとても重要なキーワードです。この分科会では私たちが日常的に考え得る権利擁護についてリカバリーとの関連で考えるきっかけを作りたいと思います。是非、ご参加下さい。</p> <p>四方田清（日本精神保健福祉士協会）、松田裕兒（成田市社会福祉協議会）、他</p>	シンポジウム ディス カッション
9	<h3>リカバリーの視点から薬を使いこなす</h3> <p>リカバリーの視点から薬を位置づけるためには、その人の人生の可能性を最大限に広げることが目標となります。日本における薬物療法の現状は、多剤大量処方がいまだ主流です。そのため、副作用、身体合併症、突然死などの問題が多発しています。日本でどのような問題がおきているのか。薬を安全に使いこなす、その人の可能性を広げていくためにはどうしたらよいのか。各分野のエキスパートとともに、問題を掘り下げていく分科会です。</p> <p>藤井康男（山梨県立北病院）、小松正泰（川崎市精神障害者家族会連合会「あやめ会」前会長）、佐藤光展（読売新聞医療情報部）、吉尾隆（東邦大学薬学部）、【司会】加藤玲（新宿区精神障害者家族会「新宿フレンズ」）</p>	シンポジウム ディス カッション
10	<h3>学校MHL(メンタルヘルスリテラシー)教育によるそれぞれのリカバリー</h3> <p>学校MHL教育とは思春期の子どもたちがこころの健康について学び、単なる知識の提供だけではなく、こころの不調を感じたときに相談などの対処ができるようになることをめざす教育プログラムです。また、教員や保護者に対しても精神保健福祉分野の専門家が主体となって授業を行います。この分科会では中学校の学校MHL教育プログラムの必要性や説明とともに、家族、当事者、学校、精神保健福祉領域の専門職が学校MHL教育を通してどのようにリカバリーできたかお話しします。</p> <p>上松太郎（学校 MHL 教育研究会）、幸村幸男（神奈川県立精神医療センター芹香病院）、柿沼紀子（横浜舞岡病院）、鎗田英樹（帝京平成大学）、李載徳（NPO法人コンボ 学校 MHL 教育研究会）</p>	シンポジウム ディス カッション
11	<h3>公募企画 精神の疾患を持つ人と共に生きていく家族が欲しい支援は？</h3> <p>病気を持つ方への支援が少しずつさされ始めています。家族(親・きょうだい)にも支援が必要だと感じています。具体的にどのような支援があれば家族も病気を持たれた方も幸せに生きていけるかを一緒に考え、視野を広げていけたらと願っています。家族・福祉関係者・医療関係者・病気を持たれた方と話し合いたいので、是非ご参加ください。</p> <p>山崎修道（東京都医学総合研究所）、小笠原勝二（東京都西多摩精神障害者家族会「西多摩虹の会」）、粕谷嘉子（東京都世田谷区精神障害者家族会「世田谷くら会」）、島本禎子（東京都杉並区精神障害者家族会「杉並家族会」）、野村義子（東京都調布市精神障害者家族会「調布かささぎ会」）</p>	発表 グループ ワーク

WRAP-元気回復行動プラン

ワーク
ショッ

「私の元気を私が作る」…元気回復行動プラン(WRAP)。この分科会では、「元気」をテーマに、お互いの経験から学びあいます。進行は、全国のWRAPファシリテーター。学びと出会いの場によろこそ！

12

全国のWRAPファシリテーターたち：Rie(神奈川県)、まみ(千葉県)、あおりん(愛知県)、大川(北海道)、石ちゃん(千葉県)、かねこちゃん(千葉県)、ねてる(千葉県)

当事者と一しょに考えるリカバリーと看護

ワーク
ショッ

イタリアのアレッツォではリカバリーという視点で個別支援とグループによる関わりを実践し、当事者の地域での生活を支援しています。リカバリーに必要なことはまず当事者自身が何をしたいかを一緒に考え実践することであり、このことに国や地域による違いはありません。この分科会では、イタリアと日本の精神保健医療福祉サービスの違いを考えながら、リカバリーの視点で病院内の看護の役割と地域での看護の役割について考えたいと思います。

13

若林幸子(こころの森)、東美奈子(相談支援事業所ふあつと)、若林隆志(海星病院)、安田香里(海星病院)

働く仲間と語り合おう ～働くためのアイデア集～

体験発表
ワーク
ショッ

様々な現場で働いている当事者が増えています。けれど、それぞれの職場ではまだまだ人数が少なく、孤独な思いを持ちながら頑張っている方も多い現状です。この分科会は経験者からの体験発表をうけ、当事者ならではのアイデアを語り合います。サイコロトークも交え、楽しく元気になるワークショッです。

14

「働く人のミーティングCAT」メンバーによる実行委員

ACT(包括型地域生活支援プログラム)を立ち上げて ～苦労もあるけど、やればできる！～

ワーク
ショッ

最近「アウトリーチ(訪問)」ということばを耳にすることが多くなったのではないのでしょうか。その方法のひとつであるACTは全国に少しずつ広がっていて、チームの立ち上げに関する質問を耳にすることが多くなりました。本分科会では「制度もない中で立ち上げるのが大変そう」「当事者や家族の立場で、立ち上げに関してお手伝いできることはありますか？」などの疑問に関して、実際にACTを立ち上げたり関わっている立場の方々との語り合う機会をもちたいと思います。

15

増子徳幸(NPO法人リカバリーサポートセンター ACTIPS 訪問看護ステーション ACT-J)、野々上武司(NPO法人とらいあんぐる) 岡崎公彦(岡崎クリニック)、久永文恵(NPO法人コンボ ACT-IPSセンター)

ピアサポートの部屋 ～ピアサポ、知ろう・語ろう・始めよう！～

ミニ
シンポジウ
フリートーク

仲間同士の支え合い(ピアサポート)は、リカバリーの出発点です。各地でピアサポート活動を行っている先輩方の体験を聞きつつ、ピアサポートについてみんなで語りあいましょ。「ピアサポって何？」という方も、「ピア活動を始めてみたいけどやり方が分からない」という方も、大歓迎です。コンボでスタートした、誰でも気軽に始められるピアの交流の場づくり(PNPP)のノウハウも紹介します。あなたもピアサポグループを始めたくなるかも？

16

有村律子(NPO法人全国精神障害者団体連合会)、藤野英明(横須賀市議会議員)、加藤道広(おたすけ club ぴあかん) 松井道久(青梅精神障害者ピアサポートグループぶ〜け)、渡口泰子(ドリームファクトリー)、宇田川健(NPO法人コンボ)

IMRで自分らしく生きる ～自ら決めるリカバリーゴール～

シンポジウ

IMR(= Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー)は、リカバリーの実現を目指すときに、とても有用で科学的根拠のあるプログラムです。IMRでは、まず最初に自らリカバリーゴールをつくり、それに向けているいることを学びます。分科会では、既実践している施設からの報告を中心に、IMRがリカバリーにどう役立ったか、またIMRの率直な感想などについても当事者が語ります。

17

IMRを実施したデイケアのメンバー、 横浜市大精神科リハビリテーションチーム(星竜平、中村正子、内山繁樹、渡辺厚彦、藤田英美、武井寛道、水野直武、加藤大慈、他)

家族による家族学習会

ワーク
ショッ

「家族による家族学習会」は、精神疾患を患った人の家族に対して、同じ立場の家族がチームになって行う学習プログラムです。参加者と同時に担当者もエンパワメントされ、家族自身のリカバリーのきっかけとなる取り組みでもあります。この分科会では、家族学習会の概要を紹介し、家族学習会の実際を会場で体験して頂きます。このプログラムに関心を持たれるご家族、専門家の皆様と、家族学習会の果たす役割とその効果について、一緒に考えてみたいと思います。

18

横山恵子(埼玉県立大学)、飯塚壽美、岡田久実子、佐藤美樹子(さいたま・もくせい家族会)

家族もリカバリー

ワーク
ショッ

リカバリーは病気や障害を持った人だけでの言葉ではありません。家族自身もリカバリーを体験されている方も多いと思います。このワークショッでは、家族自身が自分らしさを取り戻すきっかけや、お互いが元気になる。そんな時間を参加者の方々と一緒に作っていきたくと思います。

19

土屋徹(Office 夢風舎)

前夜祭連動企画！ 精神保健医療福祉システムとリカバリー ～「Mattoの町」をなくすために私たちにできること～

ワールド
カフェ

前夜祭のドラマに出てくる「Mattoの町(精神病院)」。日本では、程度の差はいろいろあれど、依然として過去のことではありません。「Mattoの町」をなくすために、私たちにできることは何でしょうか？ 今年はこのテーマについて、立場をこえて語り合います。明日からの自分自身の変化のために、ともに一歩、踏み出してみませんか。(前夜祭に参加していなくても参加できます)

20

伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)、福井里江(東京学芸大学)

東日本大震災 ～これまでとこれから～

シンポジウ
ディス
カッション

あの未曾有の大震災と原発事故から1年以上が経ちました。今年のリカバリー全国フォーラムでは、被災地でさまざまな取り組みをされている方々に、これまでの活動についてご報告いただき、その中から見えてきた課題やニーズについて伝えていただきます。そして、参加者のみなさんとともに、これから取り組まなければならないことは何かについて、考えていきたいと思います。

21

渡部裕一(宮城県仙台市：原クリニック)、西みよ子(福島県南相馬市：NPO法人あさがお)、 駿河孝史(宮城県盛岡市：こころの元気サロン@宮古)【座長】後藤雅博(新潟県新潟市：南浜病院)

公募企画 あなたはあなたの人生の主人公 ～仕事に活かした長所と配慮について学ぼう～

ワーク
ショッ

アンケートをもとに精神疾患がありながらも働く52人が活かしている長所や配慮を、アンケートに答えた本人も講師に迎え紹介します。さらに、みなさんがすでに持っている魅力と可能性に気づき、それを発揮するために必要な配慮を描く方法について、具体的に紹介します。精神疾患があっても充実した人生は過ごせる！と断言する方たちと交流し、「あなたをイカす」ことを一緒に考えてみませんか。

22

リカバリーキャラバン隊：中原さとみ(桜ヶ丘記念病院)、飯野雄治(稲城市役所)、渥美正明、岡本さやか、中村孝